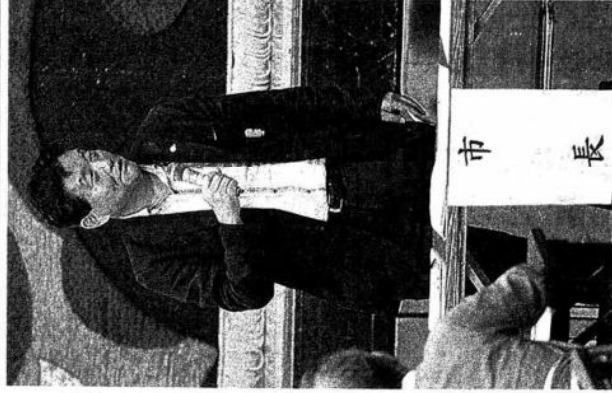


市道弥富相生山線 瑞穂区弥富町と天白区境根町を結ぶ3.83キロで、相生山緑

弥富相生山線の建設についての住民意見聴取会であいさつする河村市長＝天白区役所で



田を支出したが、179億が未完成。緑地にはヒメボタルが生息する。市の担当課によると、



道路が開通すれば周辺地域の渋滞の解消や、生活道路を走る車

が減ると指摘されて、通規制の強化で減らせることについて、「地」といった反論が出た。一方、賛成派向けの集会では、周辺学区の役員ら七十三人が建

反対派の主な意見

- ・ 水力ができれば、(道路ができれば)の懸念が大きくなる。
- ・ 道路ではなく、緑地公園にして、市民が参加できない。市民だけの意向調査になる
- ・ 素削減など森の経済効果を含んでほしい
- ・ 徳重駅まで延長した後、野並交差点というほど混んでいない
- ・ どんどん壊されていく。昔はキジだった。タヌキも出た
- ・ 森への不法投棄が予想され、通ると、渋滞が余計に増加する
- ・ 出る
- ・ 表示するヒメボタルの生息地。東から見る人もいる
- ・ 路を残し、自転車と人だけ通せ
- ・ ほしいですホテルを観察できる

反対派は、緑地の自然保護を訴え、道路が開通すれば周辺地域の渋滞の解消や、生活道路を走る車が減ると指摘されて、通規制の強化で減らせることについて、「地」といった反論が出た。

賛成派 渋滞解消へ建設再開を 反対派 緑地の自然保護を訴え

集会は反対派向けが午後一時半から、賛成派向けが同六時半からと別個に開かれた。いずれも一時間半〜一時間にわたり、河村市長と新開輝夫副市長が意見に耳を傾けた。

反対派向け集会には、市民団体のメンバー見に来る人もいた。道路が開通すれば周辺地域の渋滞の解消や、生活道路を走る車が減ると指摘されて、通規制の強化で減らせることについて、「地」といった反論が出た。

「相生山道路」の住民意見聴取会

た。建設賛成派は、周辺の渋滞解消などのための建設再開を、反対派は相生山緑地の自然保護などをそれぞれ訴えた。住民の意見をまとめた形で聴くのは今回が最後。河村市長は年内に、建設を再開するか中止するかを決める。

(北村剛史、丸田稔之)

賛成派の主な意見

- ・ 宅地化が進み、車の通行が野集中している。交通事故も多
- ・ 通り抜ける車は工事車両が多い
- ・ 一帯が危
- ・ (車の)入り込みが多い生活
- ・ 輩数が増えている
- ・ 現状のまま(自然に)手を加
- ・ が良好な生活環境をつくるこ
- ・ 工事がストップしたままでも
- ・ 万円の費用がかかっている
- ・ 道路のために、ばくばくいな資
- ・ 労力を費やしてきた。誇りに
- ・ 水害や地震が発生したとき、
- ・ するための道が必要
- ・ 40年以上前に相生山で大きな
- ・ り、消火に苦勞した
- ・ 環境への影響を調査し、道路
- ・ た。手を尽くせば、ホテルを
- ・ ヒメボタルは交通量が多い名
- ・ でも生息している

設再開を唱えた。小学校のPTA関係者は「相当数の自動車が通学路を通っているが、新しい道路ができればそちらに車が流れ、安心だ」と訴えた。

二〇〇〇年九月の東海豪雨で被害があった野並地区の住民は「道路ができれば、最短距離で避難できるように

◇集会に参加した団体
【賛成派向け集会】天白区を住みよとする会、野並学区区連絡協議会、山根学区区連絡協議会、相生学区区連絡協議会、高坂学区区連絡協議

河村市長は「一〇年一月、「いったん工事を止めて、是非を考えると工事中断を決断した。昨年四月の市長選ではマニフェストに、再開の是非を住民投票で判断する方針を掲げた。だが、地域住民の間に亀裂を生じさせかねないとして、地元から投票に反対する意見が出たため、今回の集会を開いた。」と述べた。

記者団に「大変よかった。課題を解決するために道路をつくるのか、それしかないのか、税金が生きるように、住んでいる人にとって、いい結論を出したい」と述べた。